

「国保・後期高齢者ヘルスサポート事業ガイドライン」改訂の論点

No.	論 点	ガイドライン該当箇所
1	<p>○ 保険者が行う第2期データヘルス計画最終評価や第3期計画策定にあたって、想定される課題や困難に対して、どのような点に留意してガイドラインの改訂を行う必要があるか。</p> <p>（最終評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業評価をどう行えばいいかわからない、評価結果の解釈が難しい。 ・ 「PDCAサイクルのCからAをうまく回せていない」状況が見受けられる。 <p>（計画策定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康課題と保健事業の紐付けができていない。 ・ 適切な目標や指標設定が難しい。計画の標準化の考え方等 	<p>第5章</p> <p>4. (2) データヘルス計画の最終評価</p> <p>1. データヘルス計画の策定支援</p>
2	<p>○ 支援・評価委員会や事務局が支援にあたって考慮すべき点は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ データヘルス計画の標準化の動きへの対応。 ・ 最終評価や計画策定の支援体制や支援のための様式・データ活用・ツール等。 ・ 個別事業（例えば、国保と後期の連続した分析・企画・実施等）の支援のあり方。 ・ その他 	<p>第5章</p> <p>1. データヘルス計画の策定支援</p> <p>4. (2) データヘルス計画の最終評価</p> <p>2. 個別保健事業の計画作成・実施支援</p>
3	<p>○ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍における計画上の留意事項 ・ 庁内連携等、改訂にあたってその他考慮すべき点はないか。 	<p>第5章</p>